

第3学年2組 総合的な学習の時間（英語活動）指導案

平成20年12月3日（水）第3校時
授業者 教諭

1 題材名 クリスマスを楽しもう

2 題材の目標

- ・クリスマスについて知り、ゲームなどを通して世界の文化に興味を持つことができる。
- ・オーナメントの名前やほしいカードの言い方・答え方を知り、進んで使おうとすることができる。
- ・進んで話す相手を見つけ、英語を使ってコミュニケーションを楽しむことができる。

3 題材について

(1) 題材のテーマについて

コミュニケーション能力の向上のためには、まずは自分から相手を見つけ、話をしようとするのが大切である。たくさんの友達と話し、聞き合うことで相手を知り、自分とは違う相手を認め尊重することができると思う。そのため、お互いを知るコミュニケーションの場を多く設定し、みんなで楽しく活動できる題材を考えた。

クリスマスは日本の子供たちも一年に一度のわくわくと待ちに待っている日である。このクリスマスは学級のみんなやALTと一緒に楽しむことは、日本とは異なる世界の文化や生活習慣に自然と触れることになるであろう。また、この活動をより楽しむためには、コミュニケーションは欠くことのできないものとなる。

このように、「クリスマスを楽しもう」は児童が楽しく活動したり、進んでコミュニケーションをとったりするのに有効であると考えられる。

(2) 活動計画（2時間配当）

時配	活動内容	主な言語材料
1	クリスマスオーナメントの言い方を知り、オーナメントカードを集めよう	May I help you ? O.K..Here you are.
2 (本時)	クリスマスオーナメントゲットゲームを楽しもう	I want a ~ . No, I'm sorry. O.K..Here you are.

4 児童について

明るく活発な児童が多い。3年生でクラス替えをし新学級となった。1学期に男子1名の県外からの転校生を迎えているが、うち解けて仲良く話したり遊んだりする様子が見られる。授業中は、相手に伝わるように話すことを大切にしているが、発表の声が小さかったり、自信を持って自分の思いや考えを表せない児童もいる。

英語活動については、多くの児童が楽しんで取り組んでいる。英語の歌を簡単な振りをつけて歌ったり、ペアワークやゲームを通してコミュニケーションを楽しんだりしているが、ペアワークでは、仲の良い友達とは話せても、誰とでも進んでコミュニケーションをとることができない児童もいる。

これまでの活動では、簡単なあいさつやじゃんけんゲームをした。また、Do you have ~? を使って文房具などについて話している。I want a ~ .は初めての言語材料と言える。

5 指導について

表現することへの抵抗感を減らすためには、大きな声で話すことに慣れることが大切であると考えられる。英語活動の時間だけでなく、歌や簡単なあいさつは朝の会・帰りの会などにも取り入れ、大きな声で言ったり反応したりできるよう言葉がけをして、児童に意識を持たせている。また、言語に合うジェスチャーをつけたり、リズムにのってチャンツ風に話したりすることを取り入れている。これらのことは楽しさを体感するとともに、対話への意欲向上の助けとなっている。また、同じ言語材料を少しずつ違った形で繰り返し使うことが効果的である。本題材ではクリスマスオーナメントカードを買い物形式にしてI want a ~ .のように want(動詞)を使って集めるようにした。また、自信を持ち思い切り表現できるようにするために誉めることが何よりも効果があると考えられる。できるだけ、一人一人の良いところを見つけ認めることで、児童の表現への意欲を高めていきたい。

前時の活動では、ALTのキャサリン先生から子供の頃の思い出などクリスマスについて話してもらい、クリスマスのイメージをふくらませることができるであろう。そして、前時で親しんだオーナメントの中から、自分は何がほしいのかという気持ちを高めて本時へとつなげていくようにする。本時では、「～がほしい」「どうぞ」または「ごめんなさい」というやりとりによって繰り返しゲームが展開されていく。単に英語の言語を覚えて話すのみではなく、このようにコミュニケーション的な場面を設定することにより、児童がより生き生きと活動できるようにした。

進んで相手を見つけ、いろいろな友達と話したり自分の思いを伝えたりできるように、本時ではできるだけ多くの友達と話す場面をつくるためにペアワークを中心に活動を行いたい。また、I want a ~.などの新しい言語材料をリズムよく使うことによって、より新鮮に取り組めるようにしたい。また、多くの友達の前でも自分の思いを伝えることによってさらに自信を深めさせたい。聞き手としても「〇〇さんはそのオーナメントがほしいのか」と相手の思いを認め尊重する気持ちを育てていきたい。成和中学校では、1年生の英語でコミュニケーションをさせると抵抗感がない生徒が多く、小学校の英語活動の成果を実感しているということである。本時でも、間違いを恐れずに自分のことを表現しようとする気持ちや何とかして相手のことを聞こうとする態度を育てたい。また、中学校の活動では、男子は男子、女子は女子同士になりがちであるとのことである。そこで、男女隔てなく誰とでも仲良くコミュニケーションできるようにしたいと考える。

6 本時の目標

- ・ほしいオーナメントカードの言い方や答え方を知り、使おうとすることができる。
- ・進んで話す相手を見つけ、コミュニケーションを楽しむことができる。

7 準備物

歌のCD オーナメントカード（板書用，児童用） クリスマスの飾り

8 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援（・）と 評 価（☆）																
<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつをする。 ○ 歌「We Wish You a Merry Christmas」を歌う。 ○ クリスマスに関する話を聞く。 ○ オーナメントの名前のおさらい holly,present,candy cane,star,reinder, SantaClaus,snowman,Christmas tree, gingerbread man ○ クリスマスオーナメントゲットゲームゲームをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの説明を聞く。 ・会話の言い方の練習をする。 「I want a ~.」「No, I'm sorry.」 「I want a ~.」「O. K..Here you are.」 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なあいさつをし緊張をほぐすようにする。 ・意欲的に歌っている児童をほめる。 ・絵本の読み聞かせを通して、前のALT訪問の話について思い出させ、本時につなげるようにする。 ☆興味を持って聞くことができたか。 ・全部のオーナメントの言い方ができるようにする。 ・2回目は絵カードを少しずつ見せる。 ・ルールの説明をする。 ①じゃんけんで勝った人だけが2回までたずねることができる。 ②全部別の種類のカードを5枚そろえる。 ③シールをもらう。 ・「I want a ~」の言い方と答え方を後に続けて繰り返し練習し、言えるようにする。 ・タンバリンでリズムをとる。 																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">S1 : Hello.</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">S2 : Hello.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">S1,2 : Rock, scissors, paper one two ~</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">S1 : I want a holly.</td> <td style="padding: 5px;">S2 : No, I'm sorry.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">S1 : I want a present.</td> <td style="padding: 5px;">S2 : O.K.here you are.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">S1 : Thank you.</td> <td style="padding: 5px;">S2 : You're welcome.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">S1 : Here you are.</td> <td style="padding: 5px;">S2 : Thank you.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">S1 : You're welcome.</td> <td style="padding: 5px;">S2 : See you.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">S1 : See you.</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table>	S1 : Hello.	S2 : Hello.	S1,2 : Rock, scissors, paper one two ~		S1 : I want a holly.	S2 : No, I'm sorry.	S1 : I want a present.	S2 : O.K.here you are.	S1 : Thank you.	S2 : You're welcome.	S1 : Here you are.	S2 : Thank you.	S1 : You're welcome.	S2 : See you.	S1 : See you.		
S1 : Hello.	S2 : Hello.																
S1,2 : Rock, scissors, paper one two ~																	
S1 : I want a holly.	S2 : No, I'm sorry.																
S1 : I want a present.	S2 : O.K.here you are.																
S1 : Thank you.	S2 : You're welcome.																
S1 : Here you are.	S2 : Thank you.																
S1 : You're welcome.	S2 : See you.																
S1 : See you.																	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童によるデモンストレーションを行う。 ・ペアワークを行う。 ○ 終わりのあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話が出てこない児童には一緒に言ったり黒板のカードを参考にするよう声をかける。 ・相手に一生懸命伝えようとしている児童をほめる。 ☆進んで相手を見つけてたずねることができたか。 ・今日の授業で良かった点をほめる。 																

9 授業の観点

コミュニケーションを楽しむための手立てとして、ペアワークは効果的であったか。